

**DRUG**



**INFORMATION**

2011 No. 38

平成23年7月29日発行

ラコール配合経腸用液の製剤変更について

岐阜大学医学部附属病院薬剤部  
医薬品情報管理室  
(内線7083)

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。  
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/web/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。  
[di8931@gifu-u.ac.jp](mailto:di8931@gifu-u.ac.jp) (担当：安田)

## ラコール配合経腸用液の製剤変更について

DI ニュース 2011 No.26 の薬事委員会報告でも既にご連絡しましたが、経腸栄養剤「ラコール配合経腸用液」につきましては新たに「ラコール NF 配合経腸用液」に製剤変更となります。新規の製剤は、製剤中のフィトナジオン(ビタミン K<sub>1</sub>)の含量が従来の製剤の1/10 程度に減量されており、他の経腸栄養剤(エンシュア・リキッド等)と同程度となっております(下表参照)。

	旧製剤	新製剤	〔参 考〕
薬品名	ラコール配合経腸用液	ラコール NF 配合経腸用液	エンシュア・リキッド
外観			
容量	200mL	200mL	250mL
熱量	200kcal	200kcal	250kcal
フィトナジオン (ビタミン K <sub>1</sub> ) 含量	125.00μg	12.50μg	17.50μg

東日本大震災の影響によりエンシュア・リキッド等の経腸栄養剤の供給が不足したため、他の経腸栄養剤に切り替えざるを得ない症例が全国的に数多く発生しました。しかし、ラコール配合経腸用液はエンシュア・リキッド等と比較してビタミン K<sub>1</sub> の含量が多い製剤であり、ワーファリン(ワルファリンカリウム)服用中の症例では切り替えによりその作用が減弱するリスクがありました。このリスクを回避するため、ビタミン K<sub>1</sub> の含量を他の経腸栄養剤と同程度まで減量した製剤「ラコール NF 配合経腸用液」が迅速承認され、全面的に販売を変更することになったとのことです。

製剤変更により本剤についても他の経腸栄養剤と同程度のビタミン K<sub>1</sub> 含量となりますが、注意点もあります。現在、本剤を服用中で、かつワーファリン服用中の患者では、本剤の切り替えに伴うビタミン K<sub>1</sub> 含量の低下によりワーファリンの作用が変動(作用増強等)する可能性があります。変更時には PT-INR の測定を実施するなど適切にモニタリングを行い、必要に応じてワーファリンの投与量を調整して頂くようご配慮願います。

オーダは、院内の在庫がなくなり次第変更する予定です。変更後は DO 処方は出来なくなりますので、継続投与が必要な場合は再度薬品名から登録をお願いします。

不明な点につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室(内線 7083)までご連絡下さい。